－　　－　　－

科目区分	全学必修（2014年度以前生）						
科目名	神戸松蔭とキリスト教						
担当教員	単位認定者：待田昌二						
学期	前期／1st　semester	曜日・時限	木曜1	配当学年	1	単位数	2.0

授業のテーマ	神戸松蔭の歴史とキリスト教の精神を理解する
授業の概要	この授業では、聖公会キリスト教とはどのようなものか、日本におけるキリスト教伝道 および松蔭女子学院の歴史を知ることを通して、本学の建学の精神を学びます。それは 同時に、本学が発展してきた神戸という土地とキリスト教の関わりから地域社会への貢献 について考えことでもあります。また、キリスト教と芸術・音楽の関わりを学ぶことから キリスト教をより幅広く理解し、社会活動について具体的に学ぶことを通してキリスト教 の愛の精神について考えます。
到達目標	キリスト教の歴史と聖公会について基本的な知識を得た上で、神戸松蔭の歴史と建学の精神 を説明できるようになる。 キリスト教の活動、社会と文化への影響を学び、その愛の精神について理解する。
授業計画	第1回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－キリスト教と日本 第2回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－聖公会とは 第3回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－松蔭の歴史 第4回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－松蔭とキリスト教 第5回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－資料から見る歴史 第6回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－神戸とキリスト教 第7回　キリスト教と文化－キリスト教と音楽 第8回　キリスト教と文化－礼拝と音楽 第9回　キリスト教と文化－キリスト教と美術 第10回 いのちを考える 第11回 いのちを考える－社会的実践 第12回 なぜ人を助けるのか－マザー・テレサ 第13回 なぜ人を助けるのか－マザー・テレサの活動の広がり 第14回 なぜ人を助けるのか－キリスト教の愛の精神 第15回 まとめと試験 ゲスト・スピーカーを招いた授業も行います。
授業外における学習（準備学習の内容）	毎回の授業内容を復習し、試験に向けて理解を確実なものにしておく。
授業方法	講義
評価基準と評価方法	課題提出と出席状況等による平常点60%、期末試験40%。 基本的には毎回の授業で感想など小課題の提出あり。最後に、それまでの授業全体を 振り返った試験を行うので、各回のノートや配布物は保存しておくこと。
教科書	使用しない。配布プリントによって授業を行う。
参考書	

－　　－　　－

科目区分	全学必修（2014年度以前生）						
科目名	神戸松蔭とキリスト教						
担当教員	単位認定者：待田昌二						
学期	前期／1st　semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	2.0

授業のテーマ	神戸松蔭の歴史とキリスト教の精神を理解する
授業の概要	この授業では、聖公会キリスト教とはどのようなものか、日本におけるキリスト教伝道 および松蔭女子学院の歴史を知ることを通して、本学の建学の精神を学びます。それは 同時に、本学が発展してきた神戸という土地とキリスト教の関わりから地域社会への貢献 について考えことでもあります。また、キリスト教と芸術・音楽の関わりを学ぶことから キリスト教をより幅広く理解し、社会活動について具体的に学ぶことを通してキリスト教 の愛の精神について考えます。
到達目標	キリスト教の歴史と聖公会について基本的な知識を得た上で、神戸松蔭の歴史と建学の精神 を説明できるようになる。 キリスト教の活動、社会と文化への影響を学び、その愛の精神について理解する。
授業計画	第1回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－キリスト教と日本 第2回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－聖公会とは 第3回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－松蔭の歴史 第4回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－松蔭とキリスト教 第5回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－資料から見る歴史 第6回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－神戸とキリスト教 第7回　キリスト教と文化－キリスト教と音楽 第8回　キリスト教と文化－礼拝と音楽 第9回　キリスト教と文化－キリスト教と美術 第10回 いのちを考える 第11回 いのちを考える－社会的実践 第12回 なぜ人を助けるのか－マザー・テレサ 第13回 なぜ人を助けるのか－マザー・テレサの活動の広がり 第14回 なぜ人を助けるのか－キリスト教の愛の精神 第15回 まとめと試験 ゲスト・スピーカーを招いた授業も行います。
授業外における学習（準備学習の内容）	毎回の授業内容を復習し、試験に向けて理解を確実なものにしておく。
授業方法	講義
評価基準と評価方法	課題提出と出席状況等による平常点60%、期末試験40%。 基本的には毎回の授業で感想など小課題の提出あり。最後に、それまでの授業全体を 振り返った試験を行うので、各回のノートや配布物は保存しておくこと。
教科書	使用しない。配布プリントによって授業を行う。
参考書	

－　　－　　－

科目区分	全学必修（2014年度以前生）						
科目名	神戸松蔭とキリスト教						
担当教員	単位認定者：宮本　憲						
学期	前期／1st　semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	1	単位数	2.0

授業のテーマ	神戸松蔭の歴史とキリスト教の精神を理解する
授業の概要	この授業では、聖公会キリスト教とはどのようなものか、日本におけるキリスト教伝道 および松蔭女子学院の歴史を知ることを通して、本学の建学の精神を学びます。それは 同時に、本学が発展してきた神戸という土地とキリスト教の関わりから地域社会への貢献 について考えことでもあります。また、キリスト教と芸術・音楽の関わりを学ぶことから キリスト教をより幅広く理解し、社会活動について具体的に学ぶことを通してキリスト教 の愛の精神について考えます。
到達目標	キリスト教の歴史と聖公会について基本的な知識を得た上で、神戸松蔭の歴史と建学の精神 を説明できるようになる。 キリスト教の活動、社会と文化への影響を学び、その愛の精神について理解する。
授業計画	第1回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－キリスト教と日本 第2回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－聖公会とは 第3回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－松蔭の歴史 第4回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－松蔭とキリスト教 第5回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－資料から見る歴史 第6回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－神戸とキリスト教 第7回　キリスト教と文化－キリスト教と音楽 第8回　キリスト教と文化－礼拝と音楽 第9回　キリスト教と文化－キリスト教と美術 第10回 いのちを考える 第11回 いのちを考える－社会的実践 第12回 なぜ人を助けるのか－マザー・テレサ 第13回 なぜ人を助けるのか－マザー・テレサの活動の広がり 第14回 なぜ人を助けるのか－キリスト教の愛の精神 第15回 まとめと試験 ゲスト・スピーカーを招いた授業も行います。
授業外における学習（準備学習の内容）	毎回の授業内容を復習し、試験に向けて理解を確実なものにしておく。
授業方法	講義
評価基準と評価方法	課題提出と出席状況等による平常点60%、期末試験40%。 基本的には毎回の授業で感想など小課題の提出あり。最後に、それまでの授業全体を 振り返った試験を行うので、各回のノートや配布物は保存しておくこと。
教科書	使用しない。配布プリントによって授業を行う。
参考書	

－　　－　　－

科目区分	全学必修（2014年度以前生）						
科目名	神戸松蔭とキリスト教						
担当教員	単位認定者：宮本　憲						
学期	前期／1st　semester	曜日・時限	水曜1	配当学年	1	単位数	2.0

授業のテーマ	神戸松蔭の歴史とキリスト教の精神を理解する
授業の概要	この授業では、聖公会キリスト教とはどのようなものか、日本におけるキリスト教伝道 および松蔭女子学院の歴史を知ることを通して、本学の建学の精神を学びます。それは 同時に、本学が発展してきた神戸という土地とキリスト教の関わりから地域社会への貢献 について考えことでもあります。また、キリスト教と芸術・音楽の関わりを学ぶことから キリスト教をより幅広く理解し、社会活動について具体的に学ぶことを通してキリスト教 の愛の精神について考えます。
到達目標	キリスト教の歴史と聖公会について基本的な知識を得た上で、神戸松蔭の歴史と建学の精神 を説明できるようになる。 キリスト教の活動、社会と文化への影響を学び、その愛の精神について理解する。
授業計画	第1回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－キリスト教と日本 第2回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－聖公会とは 第3回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－松蔭の歴史 第4回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－松蔭とキリスト教 第5回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－資料から見る歴史 第6回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－神戸とキリスト教 第7回　キリスト教と文化－キリスト教と音楽 第8回　キリスト教と文化－礼拝と音楽 第9回　キリスト教と文化－キリスト教と美術 第10回 いのちを考える 第11回 いのちを考える－社会的実践 第12回 なぜ人を助けるのか－マザー・テレサ 第13回 なぜ人を助けるのか－マザー・テレサの活動の広がり 第14回 なぜ人を助けるのか－キリスト教の愛の精神 第15回 まとめと試験 ゲスト・スピーカーを招いた授業も行います。
授業外における学習（準備学習の内容）	毎回の授業内容を復習し、試験に向けて理解を確実なものにしておく。
授業方法	講義
評価基準と評価方法	課題提出と出席状況等による平常点60%、期末試験40%。 基本的には毎回の授業で感想など小課題の提出あり。最後に、それまでの授業全体を 振り返った試験を行うので、各回のノートや配布物は保存しておくこと。
教科書	使用しない。配布プリントによって授業を行う。
参考書	

－　　－　　－

科目区分	全学必修（2014年度以前生）						
科目名	神戸松蔭とキリスト教						
担当教員	単位認定者：宮本　憲						
学期	前期／1st　semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	1	単位数	2.0

授業のテーマ	神戸松蔭の歴史とキリスト教の精神を理解する
授業の概要	この授業では、聖公会キリスト教とはどのようなものか、日本におけるキリスト教伝道 および松蔭女子学院の歴史を知ることを通して、本学の建学の精神を学びます。それは 同時に、本学が発展してきた神戸という土地とキリスト教の関わりから地域社会への貢献 について考えことでもあります。また、キリスト教と芸術・音楽の関わりを学ぶことから キリスト教をより幅広く理解し、社会活動について具体的に学ぶことを通してキリスト教 の愛の精神について考えます。
到達目標	キリスト教の歴史と聖公会について基本的な知識を得た上で、神戸松蔭の歴史と建学の精神 を説明できるようになる。 キリスト教の活動、社会と文化への影響を学び、その愛の精神について理解する。
授業計画	第1回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－キリスト教と日本 第2回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－聖公会とは 第3回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－松蔭の歴史 第4回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－松蔭とキリスト教 第5回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－資料から見る歴史 第6回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－神戸とキリスト教 第7回　キリスト教と文化－キリスト教と音楽 第8回　キリスト教と文化－礼拝と音楽 第9回　キリスト教と文化－キリスト教と美術 第10回 いのちを考える 第11回 いのちを考える－社会的実践 第12回 なぜ人を助けるのか－マザー・テレサ 第13回 なぜ人を助けるのか－マザー・テレサの活動の広がり 第14回 なぜ人を助けるのか－キリスト教の愛の精神 第15回 まとめと試験 ゲスト・スピーカーを招いた授業も行います。
授業外における学習（準備学習の内容）	毎回の授業内容を復習し、試験に向けて理解を確実なものにしておく。
授業方法	講義
評価基準と評価方法	課題提出と出席状況等による平常点60%、期末試験40%。 基本的には毎回の授業で感想など小課題の提出あり。最後に、それまでの授業全体を 振り返った試験を行うので、各回のノートや配布物は保存しておくこと。
教科書	使用しない。配布プリントによって授業を行う。
参考書	